学校番号	T0308

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	（通）現代文Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	新編「現代文Ｂ」改訂版（大修館）および自主教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

近現代の文章の読解を行います。評論文では文章の論理構造を的確に把握し、筆者の主張を読み取りましょう。小説教材では、登場人物の心理の変化に注目し主題を正しく読み取りましょう。多くの作品に触れることで言語感覚を養い、語彙を豊かにしていくことを心がけてください。また、自分の意見を他の生徒に説明してもらうことも多いです。自分の考えを持ち、積極的に意見を言い合い、総合的な国語力を身につけましょう。

2　学習の到達目標

・近代以降の様々な文章を的確に理解し、表現する能力を高める。
・様々な文章を読むことで、ものの見方や感じ方、考え方を深める。
・進んで読書することで、言語力の向上をはかり人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書いている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。
評価方法	行動の観察、記述の確認（ワークシート）	行動の観察（ワークシート）	記述の確認、定期考査	行動の観察、記述の確認（ワークシート等）、定期考査	行動の観察（発表等の評価）、定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	今に生きる古典	教材：ひかりのどけき春の日に――日本人と桜	○		○	◎	○	a: 教材文に関心をもち、桜にまつわる日本人の感性について読み取ろうとしている。 c: 桜を詠んだ詩歌や俳句について自分の考えや調べたことを文章にまとめている。 d: 紀友則、在原業平、兼好法師の桜に対する思いを、それぞれ読み取っている。 e: 桜を詠んだ詩歌や俳句を集めて発表する活動に積極的に参加し、わかりやすく話している。	a: 行動の観察 c: 記述の確認、定期考査 d: 行動の観察、記述の確認（ワークシート等）、定期考査 e: 行動の観察（発表等の評価）
	暮らしの中の言葉	教材:気になる日本語	○	○		◎	○	a: 教材文に興味をもち、自分たちの言葉遣いや身の回りの日本語に対して関心を深めている。 b:間違った意味や使われ方をしている日本語を挙げ、どこが間違いかを話し合っている。 d:「わたし的にはＯＫです」という表現について、その問題点を本文から読み取っている。最終段落に述べられた筆者の主張を読み取っている。 e:挙がっている例文のどこに問題があるのかを理解している。	a: 行動の観察、記述の確認(ワークシート) b:行動の観察(ワークシート) d: 行動の観察、記述の確認(ワークシート等)、定期考査 e: 行動の観察(発表等の評価)、定期考査

二学期	名作に触れる	教材:こころ	○		○	◎	○	a:小説を読み、登場人物の行動や心情、情景などを味わっている。近代文学を読むことに興味をもち、積極的に他の作品に手を伸ばそうとしている。 c:自分の考えを感想文に論理的にまとめている。 d:Kに対する「私」の気持ちの推移を、場面展開に沿って理解している。 場面ごとの「私」の言動の理由を、文脈を踏まえて理解している。 e:作者についての知識をもち、日本近代文学史の大まかな流れを理解している。	a:行動の観察、記述の確認(ワークシート) c:記述の確認 d: 行動の観察、記述の確認(ワークシート等)、定期考査 e:行動の観察(発表等の評価)、
	社会に生きる	教材:「である」ことと「する」こと	○			◎	○	a:論理の展開のしかたや要旨をとらえ、教材文の論述の優れた点を読み取ろうとしている。筆者の視点の置き方や発想のおもしろさに興味をもって、教材文に取り組んでいる。 d:段落ごとの要旨を把握し、全体の構成を理解している。 e:封建社会のあり方や、近代化による社会の変容について、大まかな知識をもっている。	a:行動の観察 d:行動の観察、記述の確認(ワークシート等)、定期考査 e:行動の観察(発表等の評価)
	評論を読む	教材:ミロのヴィーナス」	○			◎	○	a:比喩や逆説などの表現の妙を味わい、美術評論のおもしろさを感じ取っている。 d:教材文の構成と論理的な構造を理解している。独特の比喩表現を味わい、その意味する内容を読み取っている。 e:「変幻自在」「千変万化」などの意味を理解している。	a:行動の観察、記述の確認(ワークシート) d:記述の確認(ワークシート等)、定期考査 e:定期考査

三学期	物語の世界へ	教材:待合室	○			◎	○	a: 登場人物の心情を想像しながら小説を読むことに意欲をもっている。 d: 山崎さんと約束を交わした後の男の子の運命について、読み取っている。男の子にクワガタを渡すと約束した江田先生の真意を、理解している。 e: 登場人物の考え方や行動について、自分の意見をっている。	a:行動の観察、記述の確認(ワークシート) d:行動の観察、記述の確認(ワークシート等)、定期考査 e:行動の観察(発表等の評価)

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。